２委第 39 号　校内ネットワーク環境構築委託　質問に対する回答

質問１　仕様書１０整備範囲

履行場所の整備範囲は、教育関係施設内の UTM、基幹スイッチ、フロアスイッチ、無線アクセスポイント及び LAN ケーブル、学習者用端末を充電する電源キャビネットとする。と記載があるが、基幹スイッチの役割にはどのような検討がありますか。

回答１　学校内の中心的なスイッチとし，校内からのデータ通信がすべてこのスイッチを経由するため、各フロアスイッチからのデータ通信に対して、ボトルネックとならないスイッチ性能を有する役割を想定している。

質問２　仕様書１０整備範囲（１）概要

UTM・基幹スイッチ・フロアスイッチ・無線アクセスポイントの数量記載がありますが、工事費用を算出するにあたり、設置場所の記載された各学校図面等を提供いただけますか。

回答２　添付資料を参照

質問３　仕様書１１保守運用（１）故障受付/切り分け/手配

有事の際に連絡する窓口は 1 か所のみとし、一元的な故障受付を行う認識で相違ないか。

回答３　認識のとおり

質問４　仕様書１１保守運用（１）故障受付/切り分け/手配

１）ICT 環境調査、保守手引書作成・管理と記載があるが、保守手引書作成に関しては、次の認識でよろしいか。　学校からの問い合わせ方法の手順（納入機器リストを参照）の作成また管理に関してはどのような業務を想定しているか。

回答４　故障や問い合わせ先は一箇所のみに連絡することとし、一元的対応を想定をしている。

質問５　仕様書１１保守運用（２）ハードウェア保守

一元的な故障受付を行う対象機器名及び機器数量は何台か。

回答５　一元受付を行う対象は、学校に接続している回線からネットワーク機器（ONU、UTM、基幹スイッチ、フロアスイッチ、無線アクセスポイント）とし、今回新設する箇所に加えて既設環境も対象とする。

ISP（７契約：新設）、ONU（14 台：既設+新設）、CPE（7 台：既設 IPVPN 用）、ルータ（7 台：既設）、UTM（7 台：新設）、基幹 SW（14 台：既設+新設）、フロア SW（70 台：既設+新設）、無線 AP（141 台：既設+新設）

質問６　仕様書１１保守運用（２）ハードウェア保守

本案件でのオンサイト保守対応を行うNW機器の対象は、本案件にて新設するUTM（7台）、基幹SW（7台）、フロアSW(23台)、無線AP（78）までとし、既設NW機器の保守対応に関しては既存保守業者へ取次を行う認識でよろしいか。

回答６　認識のとおり

質問７　仕様書１４校内LAN（２）基幹スイッチ

PoE機能は無しで別のフロアスイッチで代用する運用でも構いませんか。また、基幹スイッチの役割を使用にある UTM にて代用できる場合は、教育委員会へ提案のうえ、導入は無しも検討可能でしょうか。

参考品記載のシスコ社 Catalyst3650-24TS-L シリーズは PoE 機能を持たないスイッチとなっており、またほかの仕様も満たさない状況になっておりますが、選定可能という認識でよろしいか。

回答７　仕様書の通り設計構築を行うこと。参考品はすべて使用可とする。ただし、PoE機能なしのフロアスイッチを利用する場合は、別途PoEHuBを準備し、想定される無線機器に電源供給が正常にできれようにすること。

質問８　仕様書１４校内LAN（３）フロアスイッチ

参考品記載のシスコ社 Catalyst3650-24TS-L シリーズは仕様を満たさないものになっておりますが、選定可能という認識でよろしいか。

回答８　仕様書の通り設計構築を行うこと。参考品はすべて使用可とする。

質問９　仕様書１４校内LAN（５）電源キャビネット

充電カートの消費電力が常に 1500W 以下であるよう自動的に操作をすることと記載がありますが、記載の参考品の場合自動制御は出来ずに、1500Wを超えるとブレーカーが落ちてしまうと思われますが、修正いただくことは可能でしょうか。

またPSE（電気安全法)、UL60950-1、VCCI、RoHS準拠であること。と記載がございますが、PSEのみの対応製品でよろしいか。

仕様を満たさなくても参考品は選定可能という認識でよろしいか。

回答９　参考品以外を使用する場合は仕様書の記載通りに従うこと。参考品はすべて使用可とする。

質問10　仕様書１４校内LAN（６）LAN配線

・配線は、各学校において、本事業に手調達したネットワーク機器間を接続するLANケーブルまたは、光ファイバーケーブルの敷設を実施すること。なお、機器設置個所までのケーブル敷設ルートについては、既存ケーブルルートでの配線が困難もしくは既存ケーブルルートが無い箇所は、新たに LAN ケーブルの敷設を行うこと。

・フロアスイッチ～教育情報コンセント間の LAN ケーブルについては既設利用を

行うこととし、基幹スイッチ～フロアスイッチ間の LAN ケーブルは新たに敷設を行うこと。

・原則、既設情報コンセントを使用しての LAN ケーブル配線は行わないこととする。

上記の記載に関して、次の認識でよろしいか。

既存の情報コンセントは既存環境のままで、新規基幹スイッチ～フロアスイッチは LAN 新設、またフロアスイッチ～教室の新規アクセスポイントにも LAN 新設ということでよろしいか。

回答 10　フロアスイッチ～教室の新規アクセスポイント間のLAN配線は既設利用可とし、それ以外の配線はすべて新設とする。

質問 11　仕様書１４校内 LAN（６）LAN 配線

学校によってケーブルが天井裏等通すことが不可の場合は、モール等利用しての工事になるがよろしいか。

新設のルートもない場合の対応は、教育委員会に相談ということでよろしいか。

回答 11　ケーブルが天井裏等通すことが不可の場合や、モールでの配線が必要な場合、新設ルートが無い場合等は、別途協議を行うものとする。

質問 12　仕様書１４校内 LAN（８）機器設置設定工事

・学校内の通信（学習用、校務用、校務外ネットワーク分離等）を考慮した設計を実施すること。

上記記載に関して、公務外ネットワーク分離とはどのような内容を想定されていますか。

また、今回納入が想定されている UTM、基幹スイッチ、フロアスイッチの収納に関しては、必要に応じて HUB 収納キャビネット等調達し各フロアの廊下等の壁に設置工事を想定していますがよろしいか。

回答 12　従来のネットワークとは物理的に分離を行うため、新たなネットワークの構築を行うこと。

無線 AP はコントローラにて一元管理が可能な設計を行うこと。